

2016年6月11日（土）

震災・復興とリスクマネジメント（ ）国際都市神戸と世界の文化（ ）提言：国際紛争・対立から平和・協調へ（ ）グローバルサイエンスと拠点都市神戸（ ）

[タイトル] 平成28年度第1回連続リレー講座

[概要]

日時 平成28年6月11日（土）13:20～16:40

場所 鶴甲第1キャンパス K棟 K202 教室

テーマ 「グローバル化とは何か？グローバル化の中で日本は？」

「学生は何を学び、何を身につけるべきか？」

講師 門脇 直哉（JAPIC 専務理事・事務局長）三和 正明（日本の魅力と真価を学ぶ集い POSITIVE JAPAN）中川 順子（野村ホールディングス株式会社 執行役員）宮本 徹（JAPIC 事業企画部）小川 真人（神戸大学理事・副学長）

神戸大学の「社会基礎学～グローバル人材に不可欠な教養」（連続リレー講座）に参加させていただいています。2016年度第1回に参加しました。

約200名の全学部から集まった大学生の中で、高校生としての問題意識を持って積極的に学ぶことができました。講義時間が終わってからも講師の先生に質問する姿が見られました。

生徒レポートから

- 「まだ高校生だから・・・」との言い訳するのを止め、今自分ができることや努力できること探して行動に移していくことが欠かせないと思いました。
- 三和先生の結びの提起にあった「語学・ノウハウでなく新たな自己の確立を！」という言葉は、私も考えていたことなので、すごく共感できました。日本はもっと自信をもって主体的に動いていく必要があると考えました。
- GLOBALとINTERNATIONALでは国境に対する意識に違いがあると定義されたことが印象的でした。
- 国家としての個性がなくなるのはとても恐ろしいことだと思います。グローバルのもたらす負の側面とそれらへの対策の理解が必要であると思いました。
- 日本らしさの減衰には私たちの日常生活の世界との結びつきに端を発しているかもしれないと感じました。

